

なか

平成15年
12月10日発行
2003
No.547



手作りあんぱん
おいしくできたかな

那珂町・瓜連町の合併②	2
健康管理家族調査の結果をお知らせします	4
那珂町金婚祝賀式典	6
公民館まつり2003	7
歴史民俗資料館だより「水鳥」	8
那珂瓜連聖苑周辺環境調査結果について	10
がんばれ！ FC水戸ホーリーホック	11
ラウンドUPなか・フォトレポート	12
みんなのひろば	16
表紙説明	20

水鳥

第 9 号



8月号に引き続き歴史民俗資料館だより「水鳥」を掲載します。町内の県指定天然記念物と館内の展示品を紹介しします。

那珂町の県指定天然記念物

天然記念物は、許可なく枝などを切ることはできません。みなさまのご理解とご協力をお願いします。

不動院のカヤ



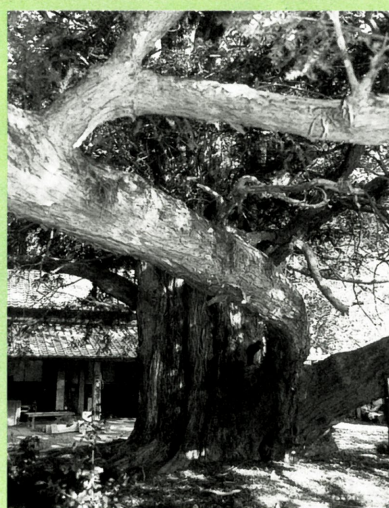
<イチイ科カヤ属>

- 所在地 那珂町菅谷3021
- 所有・管理者 不動院 浦沢泰精
- 指定年月日 昭和49年3月31日
- 推定樹齢 650年
- 樹高 約30m
- 目通り幹周囲 5.5m
- 根回り 14.5m

主幹は根の張りも力強くまっすぐに伸びて、枝は四方にバランスよく広がっています。一時期、葉の量も少なくなり衰退の傾向にありましたが、保護策がとられて管理状態も良く、枝張

りは東西20m、南北18mあり、樹勢は盛んです。カヤとしての樹形もよく整っており、雄大な樹姿を見せています。不動院大聖寺は、応永29年（1422年）に創建されました。このカヤの木は、創建以来のものと推定されています。

菅谷のカヤ



主幹は直立し、根元から南西に支幹が斜めに出ています。枝の広がり大きく、東西に約21m、南北に約

23m。最も低い枝は、地上1mまで下がっています。種子は大きく、縦に左巻きの溝があります。樹勢は盛んです。

<イチイ科カヤ属>

- 所在地 那珂町菅谷756
- 所有・管理者 飛田 良
- 指定年月日 昭和50年3月25日
- 推定樹齢 500年
- 樹高 約22m
- 目通り幹周囲 5.3m
- 根回り 11.7m

菅谷のモチノキ



地上1・5mで、3支幹に分かれ四方に広がっています。主幹は直立し、上部の髓が腐朽し

空洞になっています。やや衰えがありますが、樹勢は良好な方で、枝張りには東西15m、南北に13mあり、最も低い枝は地上1・4mに下がっています。

<モチノキ科モチノキ属>

- 所在地 那珂町菅谷841
- 所有・管理者 飛田もと子
- 指定年月日 昭和50年3月25日
- 推定樹齢 500年
- 樹高 約15m
- 目通り幹周囲 3.8m
- 根回り 10m

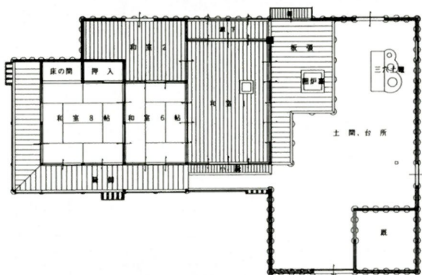
歴史民俗資料館内展示品解説 (六)

今回は、「近代」の展示品から2点ご紹介いたします。

近代① 曲がり屋模型

今ではすっかり目にするものになつた茅葺き屋根の民家ですが、その形式の一つが「曲がり屋」です。曲がり屋は、母屋から土間及び厩が突出し、鍵の手に曲がっています。なぜ、住居に厩を取り込んだのか。次のような理由があつたと言われています。

- ・冬の冷たい風が母屋に直接吹き込むのを防ぐためだった。
- ・棟数によって税金がかけられていたため、厩と住まいを一体化し同じ棟にした。
- ・昔は大切な労働力だった牛や馬を家族同様に大切にするため、厩を屋内に設けた。



上 展示されている曲がり屋の模型を正面から見たもの
下左 曲がり屋模型の基になった平面図
下右 一の関ため池親水公園の一角にある曲がり屋。年間を通して、多くの見学者が訪れます。

歴史民俗資料館では、その曲がり屋を忠実に再現した模型を常設コーナーに展示しています。

制作者は故小室勲氏で、生前那珂町福田に住み、この曲がり屋を制作する以前にも趣味で西山荘他20数棟のミニチュアを製作していたかたです。平成6年、歴史民俗資料館が開館する際にこの模型を寄贈されました。

この模型のモデルになったのは、那珂町戸崎にあつた文久2年(1862年)に建てられた民家で、現在は役場前の一の関ため池親水公園に移築され、町指定の文化財になっています。

この模型は、小室氏がモデルの民家を写真に撮り、そこから図面を起こし、100年以上前に建てられて取り壊しの決まつた大宮町の民家から材料を調達するなどして制作したこだわりの作品です。

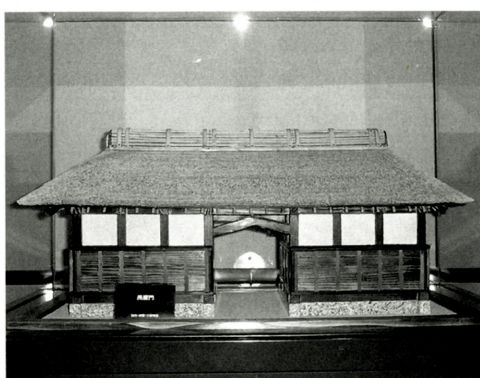
また、土台から柱、壁、屋根まで釘は一本も使われておらず、部品に溝や穴を掘り、はめ込む方法で組み立てられています。大きさは、実物の25分の1で、内部は土間、座敷、厩、中二階が再現されており、障子や襖の開け閉めができます。入り口からのぞくと、囲炉裏に鉄瓶が下がっているのを見ることが出来ます。当時の生活の様子を知る上で、大変参考になる資料です。

近代② 長屋門模型

曲がり屋模型の隣に、この長屋門の模型が展示されています。

長屋門は、門の両側に部屋を設け、そこに使用人を住ませたり、納屋、隠居部屋等として使われたりしていました。単なる門としての役割だけでなく、実用的な機能がありました。水戸藩時代は、長屋門は庄屋や村役などの限られた家にしか作ることを許されませんでした。

作者は曲がり屋模型と同じ小室氏で、曲がり屋のモデルとなつた民家前に建てられていた長屋門を精巧に再現したもので、実物は火災で焼失し現在は残っていません。



展示されている長屋門模型

問い合わせ

那珂町歴史民俗資料館

☎297・0080